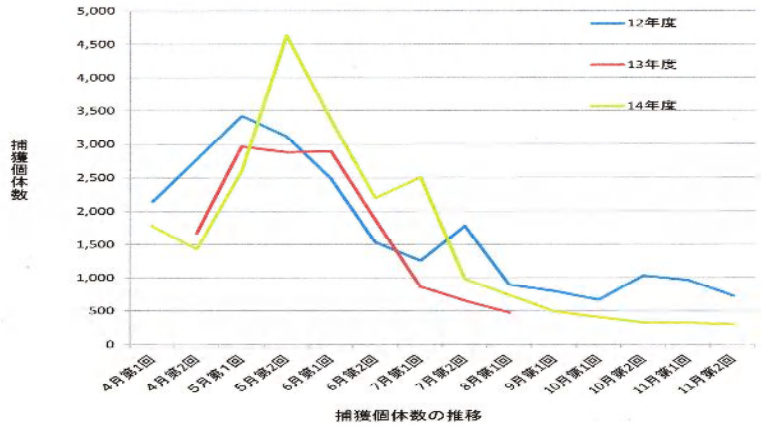
外来魚駆除後にアメリカザリガニ急増

三ツ池公園を活用する会
水辺クラブ　天野隆雄

神奈川県立三ツ池公園は横浜市にあり、その名の通り三つの池を中心とした約30haの都市公園で、12年ほど前から池の中にブルーギルやミシシッピアカミミガメ等の外来生物が多数生息するようになり、このままでは在来水生生物が絶滅しそうな状態にありました。そこで私達はブルーギル釣りやモンドリ、電気ショッカー等による捕獲活動を積極的に実施しました。

今回発表の現場「上の池」では在来生物の聖域を作る為に6年前にかいぼりを行い、ブルーギル、オオクチバス、コイ（外来）などを駆除しました。その翌年から、アメリカザリガニ（以下アメザリ）が大量に発生し、対策として毎年4月～11月の第1、第3日曜日にアメザリ釣り大会を実施しました。多い時には約650名少ない時でも約200名のご参加を頂きました。現在まで116回の実績があります。この6年間で参加者総数は約22,100名、捕獲したアメザリは約92,700匹という実績です。これだけのアメザリを僅か0.7haの「上の池」で捕獲しましたが、過去三年ほぼ同じパターンで春に多く捕獲され、秋に減少するという結果となっています。



アメザリが急に繁殖した原因としては、かいぼり時に捕食者のオオクチバス、ブルーギル、コイ（外来）、ウシガエルを池から排除したことが大きな原因と考えています。春に多く捕獲されその後捕獲量が減少するのは、釣りにより大型個体が減少して捕獲量が少なくなっていると思われます。また、毎年の捕獲量に大きな変化がないのは、捕獲量と増加量と均衡しているためと思われます。

今後は捕獲量と増加量の均衡を破るような効率的な捕獲方法を考えていきたいと思っています。